

善福寺川整備工事（その107）工事説明会 主なご質問、ご意見と回答

1. 開催概要

日 時 : 令和5年7月8日（土） 午前10時00分～午後3時00分
場 所 : 杉並区大宮二丁目 和田堀公園ケヤキ広場付近の工事作業所内
来場者 : 38名

2. 説明会のアンケートで頂きましたご意見

- ・ オープンハウスではじっくりとお話を伺えて質問しやすかった。
- ・ 住民の気持ちに寄り添って説明してもらった。親切な説明でした。
- ・ ここに住んでいる生物の環境も考えてほしい。
- ・ 緑をなくさない。鳥や動物が生き続けられることを重要だと考えてほしい。
- ・ カワセミの巣を残してください。
- ・ 樹木は再度植樹してほしい。
- ・ 川が令和10年ごろまで仮栈橋で塞がれてしまうのは残念。
- ・ 川沿いを歩かない人や近隣の方は工事のことを何も知らない。
- ・ 張り紙やポストチラシではなく、個別訪問してほしい。

自然豊かな和田堀公園内の工事ということで環境面に関する意見を多く頂きました。第三建設事務所としても環境面に可能な限り配慮しながら工事を進めてまいります。なお、オープンハウス形式の説明会については、7割の方から「良い」という評価を頂きました。工事のことや説明会の周知方法については、今後より皆様に知ってもらえるよう工夫してまいります。

説明会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【説明会場の様子】



3. 工事についての主なご質問・意見に関する都の回答（要旨）

（工事について）

- Q 1. 工事の騒音はどのくらいか。音がどのくらいになるのか気になっている。
- A 1. 工事の騒音については、法律条例で定められた基準値を遵守して、施工してまいります。
- 本工事でも、低振動や低騒音の機械を使用し、防音シートを設置するなど、振動騒音の軽減に可能な限り努めてまいります。
- 周辺では工事用車両の搬出入が全くない状況から、毎日近くで建設機械が動いている状況となるため、何か工事について不安なことなどがありましたら、いつでも関係者へご連絡ください。
- Q 2. 工事に時間がかかりすぎている。今回の工事はどのくらいかかるのか。
- A 2. 今回工事は1年程度と考えております。（説明会資料 P6）
- Q 3. 前回のその 106 工事が完了後、今回の工事が契約するまで間が空いていた。なぜ間が空いてしまったのか？
- A 3. 対外的な調整に時間を要し、このタイミングとなりました。
- 今後は連続して河川工事を行えるよう調整等進めていきたいと考えております。
- Q 4. う回路について、車いすも通行可能になるようにしてほしい。
- A 4. 工事期間中のう回についてはご迷惑をおかけします。（説明会資料 P19、20）
- 車いすの方も安全に通行できるように対応いたします。
- Q 5. 仮囲いはいつ取れるのか？
- A 5. 上流側の白山前橋まで鋼管杭圧入及び栈橋設置を行ってから、今度は下流側の大成橋に向かって護岸構築及び栈橋撤去を行っていくため、その期間仮囲いが必要となり、撤去は令和 10 年度を予定しています。（説明会資料 P18）
- Q 6. 公園内を大型の工事用車両が通るが、公園利用者の安全は確保されるのか？
- A 6. 工事で使用する建設機械の作業は原則、仮囲いの中で行います。
- 仮囲いの設置時や工事用車両が公園内を通行する際は、交通誘導員を配置し、公園利用者の安全に十分に配慮して誘導・案内を行います。（説明会資料 P9）
- Q 7. 仮囲いの高さを低くしたり、白い壁を透明にはできないのか？
- この樹木が多く自然豊かな環境が好きで散歩をしても、白い壁沿いを歩くことになり全く気分転換できない。一度設置したら何年もそのまま大変不愉快である。中で何をやっているのかもわからないし、見られては行けないことをしているのではないかという気にもなる。圧迫感があるので何とかしてほしい。工事は仕方ないが、工事が終わったら仮囲いは早くとってほしい。

A 7. 仮囲いを低くすると乗り越えてしまう恐れもあるため、高さは3mとしております。白色のみでは圧迫感を感じられるようであれば、所々透明なものとし、樹木が見えるようにするなど景観面にも配慮して対応して参ります。

Q 8. 都の工事は全体工事費に対する仮設の割合が大きい。今回の工事はどのくらいか。

A 8. 全体工事費は約7億円で、仮設にかかる費用はそのうち2割程度となっております。

Q 9. 家屋調査についてお知らせが入っていたが？

A 9. 工事エリアから30mの範囲に入る家屋を対象として調査を行います。

家屋被害が発生した場合、工事による影響かどうかを判定するため、事前調査と工事完了後の事後調査結果を比較します。事前調査を実施していないと工事の影響による損傷か否か判定できないため、補償の対象にならなくなります。調査にご協力をお願いします。(説明会資料 P21、22)

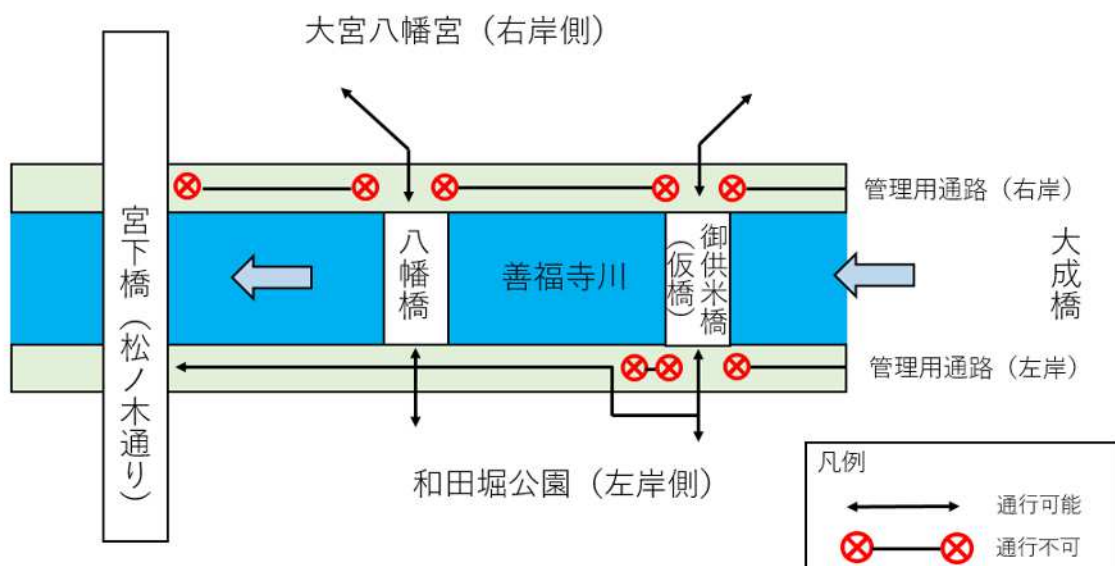
(今後の工事予定について)

Q 10. 今回工事箇所の下流側の管理用通路はどこが開放されるのか。

川沿いの通路が全て通れるようになるのか。

A 10. まもなく和田堀公園側(左岸側)の管理用通路は宮下橋から御供米橋(仮橋)間で通行可能となります。大宮八幡側(右岸側)の管理用通路は引き続き通行できませんが、宮下橋と御供米橋(仮橋)の間の八幡橋にて大宮八幡側に渡ることができます。

2023年8月上旬～(予定)



Q 1 1. 御供米橋はいつ架設するのか？

A 1 1. その 108 工事（令和 5～6 年度工事予定）で架設予定です。（説明会資料 P18）

Q 1 2. 大成橋は拡幅するのか？

A 1 2. 現況の幅 5.5m から 9.0m に拡幅する予定です。

Q 1 3. 大成橋の架け替えと道路拡幅の工事についてスケジュール等の関係性について教えてほしい。橋だけ拡幅しても道路が拡幅しなければ意味がないのでは。

A 1 3. 大成橋は河川工事を行う際に支障となるため、次期工事のその 108 工事で落橋する予定です。その後、その 111 工事（令和 9～10 年度工事予定）で新しい大成橋を架設する予定です。（説明会資料 P18）

架け替えにあたっては、事前に杉並区と調整した幅員で架け替えることとしており、道路拡幅工事のスケジュール等については、杉並区にご確認頂ければと思います。

Q 1 4. 大成橋が何で拡がるのか杉並区に聞いてほしい。

計画を変えることはできるのか。見直すように説得してほしい。

A 1 4. 大成橋の幅員については、主要生活道路として必要な幅員 9 m に都の河川整備の機会を捉え、拡幅すると伺っています。

大成橋の拡幅に関してご意見があったことは、杉並区へ伝えますが、詳細な内容やご要望は、杉並区にお問い合わせください。

Q 1 5. 白山前橋より上流も工事を行うのか。

A 1 5. 白山前橋より上流側の工事は、その 111 工事完了後に行う予定ですがスケジュール等は未定となっております。（説明会資料 P18）

（説明会について）

Q 1 6. 今日の説明会の内容は東京都のHPに公開してほしい。

A 1 6. パネルの資料と議事要旨を第三建設事務所のホームページで公開いたします。

Q 1 7. 説明会のタイミングが遅い。発注前に説明会をすべき。

説明会と言っているが、ただの通達の会である。民主的ではない。

A 1 7. 今回の説明会については、工事会社が決定したため、工事の詳細な内容をご説明するものとなります。

今後の計画、例えば白山前橋の上流の整備内容などについては、住民の皆様の意見も聞きながら進めていきたいと考えております。

Q 1 8. 説明会はオープンハウスではなく、集合形式の方が良いのでは？

A 1 8. オープンハウス形式は、一人一人の話を聞きやすいスタイルです。

その場に出てきた意見や要望等は、HPで公開し、共有することができると考えております。

(河川整備について)

Q 1 9. 河川の整備規模は昔は時間 50 ミリ降雨対応だったと思うが。

A 1 9. 現在は時間 75 ミリ降雨となっております。

内訳は、河道で 50 ミリ、調節池で 15 ミリ、流域対策で 10 ミリです。

Q 2 0. 川を掘るしか能がないのか。未整備となっている全区間を掘り進めるのか。

(説明会資料 P4)

A 2 0. 基本は河道を掘り進めて行く計画となりますが、併せて調節池の整備も行っております。上流側の未整備箇所の今後の計画については、住民の皆様の意見も聞きながら整備進めていきたいと考えております。

Q 2 1. 遊水地や二層河川について検討してほしい。

A 2 1. 遊水地については、都でも調節池の整備を進めております。

調節池の整備には用地の確保や発生土砂の処理等の検討が必要になります。

二層河川については、下層に泥が溜まりやすいなど、維持管理面からも難しいと考えております。

Q 2 2. 今の護岸をなぜ作り変える必要があるのか。

A 2 2. 現況の河川断面では、時間 50 ミリ降雨は流せないため、河川の断面を広げる必要があります。

Q 2 3. 護岸整備は人間のエゴである。善福寺川の下流の断面はみっともない。

済美橋下流のような緩傾斜護岸にできないのか。公園と調整すべき。

A 2 3. 護岸の整備方針は、地域や専門課の意見を聞いたうえで決定しております。

緩傾斜護岸の整備には敷地の制約等の課題がありますが、今後の整備の際の御意見として賜ります。

Q 2 4. 知り合いでも河川の氾濫を経験した人がいるので、善福寺川も心配だ。

A 2 4. 近年の気候変動に伴い、水害は頻発・激甚化しており、令和 5 年 6 月の台風 2 号でも善福寺川上流域で浸水被害が発生しております。

引続き、水害を防ぐために河道と調節池の両方の整備を進めてまいります。

(景観・樹木・生物について)

Q 2 5. 白山前橋上流に小魚が多く生息している。樹木や動植物への影響などもあるため、大きく手を付けず、環境には配慮してほしい。

A 2 5. 上流の整備に関しては、住民の皆様と意見を交え、環境面にも十分配慮した整備を検討し、進めてまいります。

Q 2 6. ひょうたん池にカモが少なくなった。川を掘るとカモの休み場がなくなってしまう。

A 2 6. 護岸整備の際には、カモの休み場など、工夫できるところは検討してまいります。

Q 2 7. 樹木処理の範囲と本数はどの程度か。

A 2 7. 工事範囲と工事用車両の搬出入路を含めた範囲となります。

対象本数は現時点で伐採 4 本、剪定 8 本、移植 17 本の予定です。

工事に支障となるものは基本的には剪定、移植とし、樹木医の診断により移植に耐えられないという結果がでたものは伐採を行うこととしております。

Q 2 8. 自然に配慮した護岸にしてもらいたいと思っている。

安全性が必要なことからコンクリートを使わないといけないことはわかるが、公園の中なのでなるべく自然な護岸にしてほしい。

A 2 8. 護岸の整備方針は、地域や専門課の意見を聞いたうえで決定しております。

護岸の構造上の基礎となる鋼管は必要となりますが、前面の護岸は自然石を使っております。隙間から草が生えるなど自然が感じられるようになると考えております。(説明会資料 P18)

Q 2 9. 確かこの範囲は東京の湧水に選ばれていたと思うが。

A 2 9. 善福寺川御供米橋下流が東京の名湧水 57 選に選ばれております。

このような特性のため、環境面には十分配慮して、整備後の護岸においても前面の自然石積み隙間から水がしみ出していくような構造としております。